

令和8年度 年間計画 0歳児 ちゅうりっぷぐみ

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> 健康的で安全な環境のもとで生命を保持し、生活リズムの安定を作っていく。 安心できる保育者との応答的なかわりのなかで、情緒の安定を作っていく。 聞く、見る、味わう、嗅ぐ、触れる経験を通して、興味や好奇心の芽生を作っていく。
------	--

食育の年間目標	<ul style="list-style-type: none"> 安心と安らぎのなかでミルクを飲む心地よさを味わう。 おながやすい食事を楽しんで食べ、心地よい生活を味わう。 いろいろな食べ物を見る、触れる、かんで味わう経験を通して自分で進んで食べようとする。
---------	--

	I 期 (4～5月)	II 期 (6～8月)	III 期 (9～12月)	IV 期 (1～3月)
保育者の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 家庭的な雰囲気の中で、保育者や新しい環境に慣れるようにする。 一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、体調に留意しつつ、木陰での外気浴を行う。 生活的欲求が満たされ、安心して過ごすなかで、信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 気温や水温、温度に配慮し、体調を把握しながら、水遊びを十分にやり、水の感触を楽しめるようにする。 保育者との一対一のふれあい遊びや戸外での遊びを楽しむなかで、情緒の安定を図り、豊かな感情表現が生まれるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発達に合った全身運動を、十分に楽しむようにする。 絵本や手遊び、わらべうた、リズム遊びに興味を持ち、模倣したり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しくめるようにする。 斜面や山で、個々に合った移動運動を充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候や体調に留意し、衣服を調節しながら、外気に触れて楽しく過ごせるようにする。 友達への関心が強まり、ともに過ごす喜びを感じる。 行動範囲の広がりや、やりたい思いに応えられるように、安全面に配慮しながら環境を整える。

		6～8か月	9～11か月	12～14か月	15～17か月	18～20か月	21～23か月
健康	食事	<ul style="list-style-type: none"> 授乳では、対面に抱き、目と目を合わせて優しく声をかけながら、ゆっくりと飲めるようにする。 家庭での進行状況に合わせて、離乳食を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> 対面抱き、開脚し足裏を床につけて姿勢を安定させ、自分の両手でミルクが飲めるように支える。 素材そのものを味わわせ、いろいろな食材に慣れ、喜んで食べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事から栄養摂取が中心になり、食後のミルクの量を個々に合わせて減らしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> スプーンを使って食べたり、コップや汁わんを持って飲んだりすることに慣れる。 いろいろな味がわかってきて、好みが出始めるが、無理強いせず徐々に食べられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べたい気持ちを大切にしながら、スプーンで口まで運べるように援助する。 食器に手を添えて食べられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 時々手づかみをしたり、こぼしたりしながらも、スプーンを使って一人で食べられるようにする。 苦手なものでも励まされて少しずつ食べることができるようにする。
	排泄	<ul style="list-style-type: none"> 排尿後、おしりふきで拭き、さっぱりした心地よさを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が優しく言葉かけをしながら、パンツ、ずぼんの着替えを行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 座位がしっかりとしたら椅子に座らせ、「あんよはどこかな」などと声をかけ、ぬれたオムツをはき替えることで、不快から快になる感覚を育てていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の支えのもと、対面になって足をパンツの穴に通したり、いっしょに引き上げたりして、子ども自ら着替えようとする気持ちを促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の排泄の間隔をつかんで、午睡後トイレでの排泄をしていく。 パンツの着脱の援助をいねいにしながら、手順をわからせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の前や散歩の前に、タイミングを見てトイレで排泄できるようにする。 保育者に手伝ってもらいながら、衣服を着脱しようとする。
	睡眠	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠中はあおむけでねるようにし、10分おきに呼吸の確認を行って記録をつける。 体をさすったりしながら、ゆったりと眠りにつけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠は、午前午後の1日2回程度とする。 寝る、食べる、遊ぶのリズムを意図的に作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 一定時間まとめて眠れるようにするために、午前中の睡眠は30分程度の仮眠とし、生活リズムを整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 午後、一定時間の睡眠が定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者がそばにいて、安心して布団の上で眠れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のまくらなどの持ち物がわかり、安心して静かに眠ることができる。
	全身の運動	<ul style="list-style-type: none"> 腹ばいの姿勢の機会を多く持ち、目で追う、手足を左右交互に動かすなどの意図的なあやし遊びを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> はいはいでの移動の力を獲得する時期なので、十分に動けるように空間を広くし、保育者も子どもの目の高さで関わるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びのなかで、「はう」ことを大切に、自発性を引き出しながら、左右バランスよく体を使うように関わっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 探索活動が盛んになるので、広い空間（戸外）での斜面を使った遊びのなかで、安全に自由に活動できるようにする。 遊具にひもをつけ、引っ張って楽しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が確立し、園庭での散歩活動が充実してくるので、斜面の登り降りを遊びのなかで促し、全身運動を活発にしていける。 	<ul style="list-style-type: none"> 立って斜面の登り降りを行う。 手押し車を取り入れ、自分の体を支える腕の力を育てる。
	手指の動き	<ul style="list-style-type: none"> 個々の手足指の開き、動きまでいねいに把握する。 見たものに手を伸ばして遊べるよう、木や布などの天然素材の玩具を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 探索を充実させる（引っ張る、つまむ、握る、出し入れする）玩具、手や指先を使うものを豊富にそろえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手遊び、わらべうた遊びを楽しみ、模倣する力につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が確立するので、机の上に紙を置き、立って十分に腕を動かす描画を楽しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手指を使う遊びを工夫して楽しませる（つまむ、つつく、破る、引っ張る、なぐり描きをするなど。） 	<ul style="list-style-type: none"> 砂、水、泥、木の葉、草花、昆虫などの自然に触れ、感触を楽しんだり、遊具を使った遊びが豊かになったりするように働きかける。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> 対面抱きで目と目を合わせて、あやし遊びや肌に触れての触れ合い遊びを行い、発声を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に向けて発する反復喃語（まんまんまん、だだだだなどの内言語）をそっと見守り、ゆったりとした語りかけを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 喃語や片言を優しく受けとめてもらい、保育者とのやりとりを楽しむ。 要求や発見を指さして伝える（指共感し、言語化する） 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉と動作を結びつけ、名前を読んだり、身近な小動物（犬、鳥など）の実物や絵本を見ながら伝えたりして、発語を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に絵本を読んでもらったり、手遊びや簡単な言葉の繰り返しや、模倣などをしたりして、喜び、言葉を感じていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「次は○○しようね」など、生活の見通しが持てるような言葉かけをし、大人の声かけを理解して行動できるようにしていく。 	
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 対面抱きで、ほほえみかけたり、優しく穏やかに語りかけたりして、目交いを大事にした関わりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 親しい人の顔がわかって笑う。また、初期の人見知りが始まるので、担当制で関わり、信頼を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ちょうだい」がわかり、大人とともに物や人との信頼関係を作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と歌を楽しんだり、リズムに合わせて体を動かしたり、大人の動作を見て手遊びなどを模倣したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 親しい人の後を追いかけて、戻ってくる。 人見知りがまた出てくる。 仲間の行動に関心をもち、関りを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己主張を受け止めて自分でやろうとする努力を認め、「パンツがはけた」「高いところに登れた」などの喜びを味わえるようにする。 	
子ども・子育ての支援（保護者支援）	<ul style="list-style-type: none"> 個々の家庭での生活リズムを知り、保護者と連携しながら園生活になじんでいけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー対応に十分配慮する。 食品の摂取確認を行いながら、離乳食を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー対応に十分配慮する。 移行食に変わる時期なので、食事の量や形態、ミルクの量など家庭と密に連携をとっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きも活発になり、行動範囲も広がるので、安全への配慮の仕方を伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」など、1日の生活リズムの大切さを伝え、安定して過ごせるように連携をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いや」「自分で」が出始めるので、発達段階における「自我の芽生え」について話し、ゆったりとした気持ちで関わることの大切さを伝える。 	
行事	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）			
	入園式・体重測定・内科検診・誕生会・避難訓練・歯科検診・親子ふれあい遠足・身体測定	保育懇談会・体重測定・人形劇・プールの開き・プール遊び・誕生会・避難訓練・七夕・身体測定・夜店遊び・すいか割り・日焼けコンテスト	町民スポーツ大会・保育所合同運動会・避難訓練・誕生会・身体測定・秋の園外保育・体重測定・内科検診・ミニマラソン大会・クリスマス会	映画会・誕生会・身体測定・避難訓練・節分・修了記念撮影・おひなまつり発表会・卒園式			